

教科	国語	履修学年	第1学年	指導時間	140 単位時間	担当者	木村 千佳子・大庭 順恵
使用教科書	新しい国語1 (東京書籍) 中学書写一・二・三年 (光村図書)	補助教材	基礎の学習 国語1年(新学社), 学習漢字ノート(浜島書店), 国語便覧(浜島書店)				
目標	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。						
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能		
趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、話したり聞いたり書いたりして考えをまとめ、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする。	目的や場面に応じ、構成を工夫して話したり、意図を考えながら聞いたり、話題や方向をとらえて話し合ったりしている。	目的や意図に応じ、構成を考え、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして文章に書いている。	目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえて、自分のものの見方や考え方を広くしている。	伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やよきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、文字を楷書で書き、漢字の行書の基礎的な書き方を理解している。		
評価資料	・授業への取組み ・宿題・提出物 ・ノート ・ワークシート	・定期テスト ・授業への取組み ・発表	・定期テスト ・課題テスト ・ノート ・ワークシート・作品	・定期テスト ・課題テスト ・ノート ・ワークシート	・定期テスト ・課題テスト、小テスト ・作品		

指導計画

月	単元又は題材	時数	学習内容	指導事項	評価の観点及び評価規準	
4	風の五線譜 話し方はどうかな 詩の心一発見の喜び 小さな発見を詩にしよう 音声の働きや仕組み 文法とは・言葉の単位 書写 漢字の筆づかいを確かめよう 書写 漢字の字形を確かめよう	7	・詩の意味を捉え、読み方を工夫して音読する。 ・話し方について知り、声に出して文章を読む。 ・言葉の意味を的確に捉え、詩を音読して読み味わう。 ・詩を鑑賞し、自分のものの見方を広げる。 ・言葉を選び、表現を工夫して、詩を仕上げる。 ・比喩や反復などの表現技法を理解する。 ・音声の働きや仕組みについて理解する。 ・言葉の単位について理解する。	C(1)ア C(1)ア C(1)ア C(1)オ B(1)エ 伝・国 イ(オ) 伝・国 イ(ア) 伝・国 イ(エ)	国語への関心・意欲・態度	・伝えたいことが相手によく分かるように、工夫して報告しようとしている。 ・音読や朗読をする文章の内容や表現に漢詩をもち、工夫して読もうとしている。
		4	・場面の様子や登場人物の思いに注意して、作品を読み味わう。 ・作品から読み取ったことをもとに想像を膨らませ、自分のものの見方を広げる。 ・場面の様子や登場人物の思いに注意して、作品を読み味わう。 ・作品から読み取ったことをもとに想像を膨らませ、自分のものの見方を広げる。 ・漢和辞典の使い方について理解する。 ・文節の働きや、文節どうしの関係について理解する。 ・相手の話をしっかりと聞き、自分の考えとの共通点や相違点を整理する。	C(1)ウ C(1)オ C(1)ウ C(1)オ 伝・国 ウ(イ) 伝・国 ウ(イ) 伝・国 イ(エ) A(1)エ	話す・聞く能力	・話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いに注意して話している。 ・相手の考えを聞いて、自分の考えとの共通点や相違点を整理している。
		8	・作品から読み取ったことをもとに想像を膨らませ、自分のものの見方を広げる。 ・漢和辞典の使い方について理解する。 ・文節の働きや、文節どうしの関係について理解する。 ・相手の話をしっかりと聞き、自分の考えとの共通点や相違点を整理する。	言語活動 ・C(2)ア：様々な文章を音読したり朗読したりする。 ・A(2)ア：日常生活の話題について報告する。	書く能力	・書いた下書きを読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、表現を工夫し、読みやすく分かりやすい詩を仕上げている。
		1	中間試験	言語活動 ・C(2)ア：様々な文章を音読したり朗読したりする。 ・A(2)ア：日常生活の話題について報告する。	言語についての知識・理解・技能	・比喩や反復などの表現技法について理解し、朗読に役立っている。 ・音声の働きや仕組み、音節、イントネーション、アクセントなどについて理解し、目的に応じて適切な音量や抑揚で話している。 ・文節や単語などの言葉の単位について理解している。
6	オオカミを見る目 つなぐ言葉・指し示す言葉 活字と書き文字・画数・筆順 図表を使って伝えよう 碑 書写 文字の大きさと配列を確かめよう 書写 着中見舞いを書こう	21	・段落の役割や、段落どうしの関係に着目して文章の構成を捉え、内容を読み取る。 ・筆者の文章の書き方について、自分の考えを持つ。 ・つなぐ言葉や指し示す言葉の働きについて理解する。 ・活字と書き文字の違い、画数、筆順について理解する。 ・ふだんの生活を振り返って、書くための材料を集め、伝える内容を考える。 ・材料を分類するなどして整理し、図表にまとめたり、段落の役割を考えて文章を構成したりする。 ・本の中から目的に合った文や語句を見つける。	C(1)イ C(1)エ 伝・国 イ(エ) 伝・国 ウ(ア) 伝・国 ウ(イ) B(1)ア B(1)イ C(1)カ	国語への関心・意欲・態度	・図表を用いた説明の効果などを考え、分かりやすい文章を書こうとしている。 ・課題に沿って本を選び、その内容を進んで紹介しようとしている。
		2	言語活動 ・B(2)イ：図表を用いた説明の文章を書く ・C(2)ウ：課題に沿って本を読み、必要に応じて引用して紹介する。	話す・聞く能力	・日常生活の経験等の中から、図表を用いて説明するのにふさわしい事例を見付け、その内容を簡単にまとめている。 ・図表を示して説明する部分を意識しながら、段落を組み立てている。	
		1	期末試験	言語活動 ・B(2)イ：図表を用いた説明の文章を書く ・C(2)ウ：課題に沿って本を読み、必要に応じて引用して紹介する。	読む能力	・本の紹介の仕方に応じて、文章を要約している。 ・文章の構成や展開、表現の特徴などを分析的にとらえ、自分の考えをもって本を紹介している。 ・関連する説明の文章を読み、文章と図表から必要な情報を得ている。 ・表題や目次などを参考にして課題に沿った本を選び、必要な情報を読み取っている。
8	1学期小計 (48)	1	言語活動 ・B(2)イ：図表を用いた説明の文章を書く ・C(2)ウ：課題に沿って本を読み、必要に応じて引用して紹介する。	言語についての知識・理解・技能	・図表を説明するときに指示語や接続詞を工夫して使っている。 ・文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。	
		16	・古典にはさまざまな作品があることを知る。 ・古典に対する興味や関心を持つ。 ・歴史的仮名遣いに注意して、古文の読み方に慣れる。 ・現代語とは異なる仮名遣いや言葉に注意して、古文を読み味わう。 ・物語のおもしろさを知り、作品に描かれた世界と現代とのつながりを考える。 ・漢文特有のリズムを味わい、訓読に必要な決まりを知る。 ・現代に生きる故事成語について理解を深める。 ・漢字の音読みと訓読みについて理解する。 ・単語の分類の仕方について理解する。 ・全体と部分、事実と考えとの関係に注意して、分かりやすく話を組み立てる。 ・声の大きさや話す速さ、間の取り方などに気をつけて、聞き取りやすい話し方をする。	伝・国 ア(イ) 伝・国 ア(イ) 伝・国 ア(ア) 伝・国 ア(ア) 伝・国 ア(ア) 伝・国 ウ(ア) 伝・国 ウ(イ) 伝・国 イ(エ) A(1)ウ A(1)ウ	国語への関心・意欲・態度	・伝えたいことが相手によく分かるように、工夫して報告しようとしている。
		2	言語活動 ・A(2)ア：日常生活の話題について報告する。	話す・聞く能力	・伝えたいことを分かりやすく報告するために、話をどのように組み立てるかを考えている。 ・話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いに注意して報告している。	
		2	言語活動 ・A(2)ア：日常生活の話題について報告する。	書く能力	・古文や漢文を朗読するために、登場人物の心情や行動、情景描写に注意して読み、内容の理解深めている。 ・古文や漢文の表現の特徴や効果をとらえ、朗読の仕方を考えている。	
9	さまざまな古典作品を知ろう 伊曽保物語 竹取物語 矛盾 音読み・訓読み 単語の分類 分かりやすく紹介しよう 書写 行書の特徴を知ろう 書写 点画の方向や形が変化するときの筆使いを知ろう	16	言語活動 ・A(2)ア：日常生活の話題について報告する。	言語についての知識・理解・技能	・文語のよきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れている。 ・文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。 ・学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書いている。 ・古典には様々な種類の文章があることを理解している。	
		2	言語活動 ・A(2)ア：日常生活の話題について報告する。	言語についての知識・理解・技能	・文語のよきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れている。 ・文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。 ・学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書いている。 ・古典には様々な種類の文章があることを理解している。	

月	単元又は題材	時数	学習内容	指導事項	評価の観点及び評価規準			
10	月夜の浜辺 脳の働きを目で見てみよう 漢字の部首 名詞 根拠を明確にして書こう 書写 点画が連続するときの筆使いを知ろう 書写 書いて確かめよう 中間試験	17	<ul style="list-style-type: none"> 詩の中の言葉から情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。 文脈の中における語句の意味を的確に捉える。 事実と筆者の考えとを読み分けて、要旨を捉える。 文章の内容を踏まえて、脳の働きについて考える。 漢字の部首やその意味について理解する。 名詞の種類について理解する。 説得力のある根拠を考え、根拠を明確に示して自分の意見を書く。 書いた文章を互いに読み合い、根拠の明確さや説得力などを確かめ合う。 	C(1)ア C(1)ア C(1)イ C(1)オ 伝・国 ウ(ア) 伝・国 ウ(イ) 伝・国 ウ(エ) B(1)ウ B(1)オ	国語への 関心・意欲・ 態度	<ul style="list-style-type: none"> 音読や朗読をする文章の内容や表現に関心をもち、工夫して読むとしている。 文章と図表との関連をとらえながら、説明の文章を読もうとしている。 図表を用いた説明の効果などを考え、分かりやすい文章を書こうとしている。 		
					話す・聞く 能力			
		2	言語活動 ・C(2)ア：様々な文章を音読したり朗読したりする。 ・C(2)イ：文章と図表との関係を考えながら説明の文章を読む。	C(1)ウ C(1)エ 伝・国 ウ(イ) 伝・国 ウ(ウ) 伝・国 ウ(ア) 伝・国 ウ(イ) C(1)カ	話す・聞く 能力	<ul style="list-style-type: none"> 説明の必要理由や目的、説明するものの概要を明確にして書いている。 書いた文章を互いに読み合い、図表の効果や説明の分かりやすさなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりしている。 		
					書く能力	<ul style="list-style-type: none"> 説明の文章を読み、文脈に即して語句の意味を的確にとらえ、キーワードを考えている。 説明されている事実と図表との関係を整理し、文章の要旨をとらえている。 説明されている内容についての書き手のもの見方や考え方をとらえ、自分の考えをもっている。 		
					読む能力	<ul style="list-style-type: none"> 説明の文章を読んで自分の考えを書いたり述べたりする際に、より適切な語句を選んでいる。 文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。 		
11	少年の日の思い出 語の意味と文脈 漢字の成り立ち 案内や報告の文章を書こう コンビニ弁当十六万キロの旅 書写 行書の特徴を確かめて書こう 期末試験	13	<ul style="list-style-type: none"> 場面の展開を捉え、人物や情景を描いた表現に着目して、作品を読み深める。 作品の構成の工夫について、自分の考えを持つ。 語の多面的な意味と、文脈の働きについて理解する。 漢字の成り立ちについて理解する。 必要な情報を選び出し、分かりやすい構成でまとめる。 情報の調べ方・集め方を身につけ、必要な情報を読み取る。 	C(1)ウ C(1)エ 伝・国 ウ(イ) 伝・国 ウ(ウ) 伝・国 ウ(ア) 伝・国 ウ(イ) C(1)カ	国語への 関心・意欲・ 態度	<ul style="list-style-type: none"> 行事等の案内をする文章の形式や役割を意識して、簡潔に文章を書こうとしている。 文章と図表との関連をとらえながら、説明の文章を読もうとしている。 		
					話す・聞く 能力			
		4	言語活動 ・B(2)ウ：行事等の案内をする文章を書く。 ・C(2)イ：文章と図表との関係を考えながら説明の文章を読む。	C(1)オ C(1)カ 伝・国 ウ(ア) 伝・国 ウ(イ) B(1)イ C(1)カ	話す・聞く 能力	<ul style="list-style-type: none"> 相手に案内すべき内容を、相手を誘う言葉と行事等の概要とに分けて書いている。 		
					書く能力	<ul style="list-style-type: none"> 文章を朗読するために、登場人物の心情や行動、情景描写に注意して読み、内容の理解を深めている。 文章の表現の特徴や効果をとらえ、朗読の仕方を考えている。 関連する説明の文章を読み、文章と図表から必要な情報を得ている。 		
					読む能力	<ul style="list-style-type: none"> 学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書いている。 案内をする文章に特有の語句や慣用的な表現について、辞書でその意味を調べて使っている。 		
12	2学期小計 (56)		言語活動 ・B(2)ウ：行事等の案内をする文章を書く。 ・C(2)イ：文章と図表との関係を考えながら説明の文章を読む。	C(1)オ C(1)カ 伝・国 ウ(ア) 伝・国 ウ(イ) B(1)イ C(1)ア C(1)オ C(1)エ	国語への 関心・意欲・ 態度	<ul style="list-style-type: none"> 互いの考えの共通点や相違点を整理し、建設的に話し合おうとしている。 関心のある芸術作品について、自分の印象や感動を分かりやすく文章に書こうとしている。 		
					話す・聞く 能力	<ul style="list-style-type: none"> 意見を述べる上で、事実と意見をどのように配列すると分かりやすいかを考えて話を構成し、文末表現などに注意するとともに根拠を明確にして話している。 聞き手の受け止め方や理解の状況に注意して話している。 相手の考えを聞いて、自分の考えとの共通点や相違点を整理している。 		
					書く能力	<ul style="list-style-type: none"> 作品のよさを挙げて要素ごとに整理し、段落の役割を考えて文章を構成している。 自分の考えた作品のよさやその根拠が相手に伝わるかどうかを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にしている。 		
					読む能力	<ul style="list-style-type: none"> 説明されている内容についての書き手のもの見方や考え方をとらえ、自分の考えをもっている。 関連する説明の文章を読み、文章と図表から必要な情報を得ている。 文章の表現の特徴や効果をとらえ、朗読の仕方を考えている。 		
					言語に ついての 知識 理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> 語句の文脈上の意味をとらえ、それが文章の中で果たしている役割を考えながら読んでいる。 多様な語句について理解し、朗読するときのように読んだらよいかを考えている。 作品のよさを書き表すのに、比喩や反復などの表現の技法を、必要に応じて適切に用いている。 		
1	ニュースの見方を考えよう 新しい常用漢字 連体詞・副詞・接続詞 話し合いで理解を深めよう 鑑賞して良さを表現しよう 木 トロッコ 書写 行書で書いて飾ろう 書写 学校生活に役立つものを作ろう	33	<ul style="list-style-type: none"> ニュースの見方について自分の考えを持つ。 目的に応じて情報を選択して用いる。 常用漢字について理解する。 連体詞・副詞・接続詞の種類や働きについて理解する。 お互いの体験や考えを出し合って整理する。 相手の発言をしっかりと聞き、話の方向を捉えて自分の考えを話す。 作品の良さを伝えるという目的に沿って、鑑賞文を書くための材料を整理し、文章を構成する。 鑑賞文やキャッチコピーが的確で印象深いものになるよう、表現を磨く。 詩の中で使われている言葉の意味を的確に捉える。 詩に表れているもの見方を捉え、自分の考え方を広くする。 文学作品を読み、情景描写などの表現の効果について考える。 	C(1)オ C(1)カ 伝・国 ウ(ア) 伝・国 ウ(イ) B(1)イ C(1)ア C(1)オ C(1)エ	国語への 関心・意欲・ 態度	<ul style="list-style-type: none"> 互いの考えの共通点や相違点を整理し、建設的に話し合おうとしている。 関心のある芸術作品について、自分の印象や感動を分かりやすく文章に書こうとしている。 		
					話す・聞く 能力	<ul style="list-style-type: none"> 意見を述べる上で、事実と意見をどのように配列すると分かりやすいかを考えて話を構成し、文末表現などに注意するとともに根拠を明確にして話している。 聞き手の受け止め方や理解の状況に注意して話している。 相手の考えを聞いて、自分の考えとの共通点や相違点を整理している。 		
		2	言語活動 ・A(2)イ：日常生活の話題について討論する。 ・B(2)ア：関心のある芸術作品について、鑑賞したことを文章に書く。	C(1)オ C(1)カ 伝・国 ウ(ア) 伝・国 ウ(イ) B(1)イ C(1)ア C(1)オ C(1)エ	書く能力	<ul style="list-style-type: none"> 作品のよさを挙げて要素ごとに整理し、段落の役割を考えて文章を構成している。 自分の考えた作品のよさやその根拠が相手に伝わるかどうかを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にしている。 		
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> 説明されている内容についての書き手のもの見方や考え方をとらえ、自分の考えをもっている。 関連する説明の文章を読み、文章と図表から必要な情報を得ている。 文章の表現の特徴や効果をとらえ、朗読の仕方を考えている。 							
3	学年末試験	33	言語活動 ・A(2)イ：日常生活の話題について討論する。 ・B(2)ア：関心のある芸術作品について、鑑賞したことを文章に書く。	C(1)オ C(1)カ 伝・国 ウ(ア) 伝・国 ウ(イ) B(1)イ C(1)ア C(1)オ C(1)エ	言語に ついての 知識 理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> 語句の文脈上の意味をとらえ、それが文章の中で果たしている役割を考えながら読んでいる。 多様な語句について理解し、朗読するときのように読んだらよいかを考えている。 作品のよさを書き表すのに、比喩や反復などの表現の技法を、必要に応じて適切に用いている。 		
					3学期小計 (36) 合計 (140)			
先生からのアドバイス	学習の進め方 (学習方法、 学習形態等)	(1) 学習形態…学習内容に応じ、一斉、グループ、個別学習を組み合わせます。 (2) 習得・活用…「話す・聞く」「書く」「読む」で身に付けた技術・知識が、日常生活や他教科の場面で活用できるように指導します。 (3) 家庭学習…授業の内容と、家庭学習が結び付くよう、工夫しています。毎日の宿題と、試験後に提出する課題とを分けて出しています。 (4) 言語活動…討論やレポートの言語活動は、教科の力を育む活動です。積極的に取組むことで、学力も伸ばせるよう単元を考えています。						
	学習上の留意点 受講上の注意	○授業で学習した文学的文章や説明的文章の読み方を使って、自主学習するノート(活用ノート)を使用します。定期的に提出することになるので、計画を立てて家庭学習を進めましょう。 ○学習漢字ノートや文法ワークを使って、繰り返し学習に使用することにより、基礎的な知識を身につけましょう。 ○授業以外の時間でも積極的に読書に親しんでいきましょう。また、図書室も積極的に利用しましょう。 ○読書のジャンルを広げ、新聞や新書などを通して評論文・説明文などにも親しみましょう。						